



財団法人 立石科学技術振興財団  
第1回（平成22年度）立石賞のご案内

（財）立石科学技術振興財団においては、設立20周年を記念して財団法人立石科学技術振興財団「立石賞」(Tateisi Prize)を創設することになりました。本賞は、エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進し、技術革新と人間重視の視点の両面から真に最適な社会環境の実現に寄与することを目的とし、またオムロン株式会社の創業者である立石一真氏および本財団の初代理事長を勤めた立石孝雄氏の産業・技術の発展に対する功績および人材の育成に対する貢献を記念する賞であります。

就きましては、第1回(平成22年度)「立石賞」候補者を募集しますので、お知らせいたします。  
(詳細については候補者推薦要項をご覧ください。)

記

1. 対象者および賞の種類：顕彰の対象者は、エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進し、技術革新と人間重視の視点において顕著な業績をあげた個人で、次のとおりとします。

(1) 過去に本財団の研究助成を受け、顕著な研究業績をあげた者。

(2) 当財団の趣意に沿った日本発の研究・技術で顕著な業績をあげた者。  
前項(1)に対するものを立石賞功績賞(Tateisi Prize, Achievement Award)と称し、前項(2)に対するものを立石賞特別賞(Tateisi Prize, Grand Award)と称します。

2. 顕彰：顕彰は、賞状・賞牌及び賞金(500万円)をもって行います。

立石賞は隔年実施とし、1回につき立石賞功績賞2名程度、立石賞特別賞2名程度、合計4名程度への贈呈を予定しております。ただし、該当者がいない年度においては顕彰を実施いたしません。

3. 第1回募集期間：平成21年4月1日～平成21年6月30日(消印有効)

4. 贈呈式：平成22年5月(予定)

5. 推薦書書式：所定の書式を下記からダウンロードし、「候補者推薦要項」をご参照の上ご記入ください。

URL：<http://www.tateisi-f.org/>

7. 問い合わせ先：

〒600-8234 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地

財団法人 立石科学技術振興財団 事務局

TEL:(075)365 4771 FAX:(075)365 3697

E-mail:tateisi-f@omron.com



## ● 第1回（平成22年度）立石賞 候補者推薦要項

### 1. 候補者資格

『立石賞功績賞』は、過去に立石科学技術振興財団（以下、「財団」という。）の研究助成を受け、その後の研究活動において顕著な研究業績をあげた個人を候補者とします。今年度は、第1回（平成2年）～第15回（平成15年）の研究助成受領者を対象とします。ただし、賞の対象となる業績は財団研究助成のテーマと異なるものであってもかまいません。また、『立石賞功績賞』の推薦は自薦他薦を問いません。

『立石賞特別賞』は、前項にかかわらず、エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進する日本発の研究・技術で顕著な業績をあげた個人で、有識者からの推薦を受けた方を対象とします。『立石賞特別賞』の推薦は他薦に限ります。

### 2. 受賞条件

立石賞の受賞は、5月中旬に開催予定の贈呈式に出席し、受賞記念講演を実施していただくことを条件とします。贈呈式の日程が確定していない段階でこの条件をお約束いただくことは難しいかと存じますが、ご承知いただきますようお願いいたします。

### 3. 推薦手続

推薦者は、所定の推薦書書式に必要事項を記入し、正副合計2通（副はコピー可）の推薦書およびその電子ファイルを、平成21年6月30日（木）（消印有効）までに、財団事務局宛に郵送してください。なお、参考までに郵送日をeメールにて連絡してください。推薦書書式は下記からダウンロードしてご使用ください。

『候補者推薦書』を取り出す。

（注）推薦書類は、賞の対象から洩れた場合であっても、お返しできませんのでご了承ください。但し、推薦書類は財団の立石賞審査以外の目的に使用されることはありません。

### 4. 受賞者の選考および決定

審査委員会で顕彰候補者を選考し、理事会において受賞者を決定します。

（注1）選考は、ご提出いただいた推薦書類に基づき行いますが、必要に応じて追加資料の提出、または

個別の説明を求めることがあります。

(注2) 審査の経過・内容については一切公表いたしませんので、お問い合わせはご遠慮ください。

(注3) 受賞決定に先立って、贈呈式への出席および受賞記念講演の実施について、候補者にお伺いする事になりますので、ご了承ください。

## 5. 選考結果の通知

推薦者への選考結果通知は、平成22年3月下旬を予定しています。受賞者へは別途、郵送にて詳細をお知らせします。所属機関等への連絡が必要な場合は、推薦者または受賞者が行ったださるようお願いします。

## 6. 賞の贈呈

平成22年5月中旬に予定される贈呈式で受賞者に目録等をお渡しした後、賞金は受賞者の口座へ振込みさせていただきます。

## 7. 立石賞の決定取消、中止及び返還

立石賞を受賞した者が、次のいずれかに該当する事実が判明したときには、賞の授与を取り消しもしくは中止し、贈呈した賞金等の返還を求めることがあります。

(1) 推薦内容が虚偽または事実と反していたとき

(2) その他、財団趣旨に照らしてふさわしくないと財団理事会が認めたとき

## 8. その他

財団は、立石賞受賞者およびその業績・受賞記念講演内容等をホームページに掲載することができるものとします。同時に、受賞記念講演の全部又は一部を、財団の助成活動普及の目的で発行している立石財団助成研究成果集、或いはその他の財団印刷物に掲載して公表する事ができるものとします。そのために、贈呈式での記念講演内容を電子データにてあらかじめ事務局へ提出して頂くものとします。

## 9. 問合せ先

〒600-8234 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地

財団法人 立石科学技術振興財団 事務局

TEL (075)365 4771 FAX (075)365 3697

E-mail:tateisi-f@omron.com